

なぜ、本を読むと良いのでしょうか？

本を読むと良いことは知っていても、具体的に読書でどんな効果が得られるのか、ご存知でしょうか？もちろん、語彙力や、読解力など、学習面の効果もありますが、読書で得られる効果はそれだけではありません。生きていくうえで、それ以上に大切な効果がありますので、ご紹介します。

〈読書の効果〉

①本は世界を広げてくれる

本を読むと、自分の知らなかったことを知ることができます。自然科学や、外国の文化、歴史、社会など、自分の知らないことを知ると、知識が増えたり、物の見方が変わり、広い視野で物事を考えられるようになります。また、物語を読むと、自分のいない世界に行くことができます。日本だけでなく、外国や、過去、未来、さらには、現実には存在しない魔法が出てくるような世界も体験することができます。

②人の気持ちを想像することができる

絵本や物語を読むと、様々な登場人物が出てくるので、普段はなかなか知り得ない人の気持ちを知ることができます。色々な立場や、状況に立った誰かの気持ちを想像することができると、現実の世界とも照らし合わせて、人の気持ちを立ち止まって考え、思いやることができるようになります。

③本は困ったことや、悩みを解決するヒントをくれる

お子様たちは成長に伴って、いろいろな悩みや問題にぶつかるが増えていきますが、誰にも悩みを話せず、一人で悩むお子様も多いです。そんな時に、本に書かれている言葉や、主人公の気持ちや行動に、自分なりの答えを見つけ出し、困難にぶつかった時に、どう乗り越えていくかを考えていく力を養うことができます。

④未来に希望を持つことができる

児童文学は、希望を描く文学なので、この先の未来に希望を持って、期待しながら読むことができます。本を読むことで、未来に実現させたいことや、将来の夢を見つけることができたり、どんな困難なことが起きても、最後にはハッピーエンドが待っていると信じることができたりすれば、明るい未来を信じて強く生きていくことにも繋がります。

⇒①～④の効果をまとめると、「生きる力」ということになります。

本を読むと、生きていく為に必要な様々な力を自然と身につけることができますので、ぜひ、ご家庭でも、読書の習慣を付けていただくと、ありがたいです。

参考：絵本ナビ「なぜ、子どもに本が必要の？」

<http://www.ehonnavi.net/specialcontents/contents.asp?id=2223>

本のおたより

(4年生～6年生用)



令和7年10月28日秋号

読書の秋に読んでみませんか？

今回の本のおたよりでは、今年度新しく入った本のなかから、この秋に読んでほしい本をしょうかいします。秋は、暗くなる時間が早くなり、すずしいので、読書をするのに向いている季節です。

八幡小学校でも、11月は、読書月間として、さまざまな取組をしています。図書室のろうかには、八幡小学校の先生のおすすめの本を展示していますよ。ぜひ、借りてきてくださいね。

絵本『カリジェの町の大時計』 ぬまのうまき/作 世界文化社



きせきは起きるのでしょうか？

カリジェの町にある大時計には、ふしぎな力があります。あるとくべつな日のとくべつな時間に、大時計に願いをこめると、会いたい人に会えるという言い伝えがあります。

その大時計のとなりには、大時計を守っている時計屋のイーグルさんが住んでいました。イーグルさんが、毎年、大時計の点検をしてくれているので、大時計は、ずっと正しく、動き続けているのです。

ある日、イーグルさんをたずねて、女の子がやってきました。その女の子には、生まれてから1度も会ったことのないふたごの妹がいて、その妹に会ってみたいと言うのです。

さて、言い伝えのとおり、女の子の願いはかなうのでしょうか？

物語『2分の1成人式』 せいじんしき 井上林子/作 いのうえりんこ あらいようじろう/絵 こうだんしゃ 講談社



将来の夢、決まっていますか？

小学4年生の桐谷ユメは、勉強が難しかったり、毎日の習い事を楽しめずにつかれてしまったりして、気が付くと、心の中で文句ばかり言ってしまいます。そんな自分がいやになり、心がどんどんしぼんでいくような思いをしていました。

そんなユメには、好きなものがありました。それは、アニメ「魔法少女マリン」です。マリンは、人魚に変身して、世界中の海を旅しながら、魔法の力でだれかを幸せにしていくのです。そんなマリンが、ユメのあこがれでした。しかし、低学年の子まで向けのアニメなので、クラスの友達には、今でもマリンが好きなことを内しよにしていました。

ある日、担任の先生から、今年で10才になる4年生は、成人式の半分の年れいなので、「2分の1成人式」にあたりと言われました。そこで、自分の10年間の過去をふり返って、10年後の自分の未来を想像する、「2分の1成人式文集ノート」を書く課題が出されました。そして、そのノートに書いたことを、土曜参観で発表すると言うのです。

クラスの友達は、将来の夢がはっきり決まっているなか、マリンになりたい以外の夢が思いうかばず、なやむユメは、将来の夢を見つけることができるのでしょうか？

物語『謎解きホームルーム』 なぞと にほんじどうぶんげいかきょうかい 日本児童文芸家協会/編 しんせいしゅっぱんしゃ 新星出版社

(シリーズ全5巻) 解けたら気持ちいいナゾ解きはいかが？

産休の先生の代わりに担任としてやってきた車六家睦先生は、ミステリーが大好きです。そこで、毎週金曜日のホームルームの時間に、1人ずつミステリーを発表し、休みの間にみんなに推理してもらい、月曜日に答え合わせをするのはどうかという提案をしました。

クラスのみんなは、楽しんで、次々とミステリーを発表しました。入れかえられた絵画や、消えた手帳、バスでの完全犯罪、サーカス中に消えた音楽、ひみつ暗号など、気になるナゾばかりです。

1話10分で読めるので、みなさんもナゾ解きに挑戦してみてくださいね。



図書室ミッション

11月4日(火)～11月28日(金)まで、図書室ミッションを行います。図書室や、本に関係のあるミッションをクリアして、10ポイントたまと、プレゼントがあります！さらに、全部のミッションをクリアした人には、ゴリハかんバッジをプレゼントしますよ！参加したい人は、図書室に用紙をもらいにきてくださいね。

図書室ミッション (4～6年生)

☐ ①図書室で新キャラクターをみつける…2ポイント

☐ ③借りたことがない本を借りる…2ポイント

☐ ⑤おすすめの本の紹介カードを書く…4ポイント

☐ ⑦本を使って、調べたいことを調べる…4ポイント

☐ ⑧お家で、1週間毎日15分以上、読書をする…5ポイント

☐ ⑨お家の人に本を読んでもらう、または、お家の人と一緒に読書する…5ポイント

☐ ②本を4さつ借りる…2ポイント

☐ ④先生のおすすめの本を借りる…3ポイント

☐ ⑥本の三行感想を書く…4ポイント

(↑⑤と⑥を書く用紙は図書室にあります。)

⑧お家の人のサイン

⑨お家の人のサイン

←⑧と⑨は、お家の人のサインをもらってください。

できたミッションに丸をして、下に番号とポイントを書き、10ポイントためましょう。ポイントがたまったら、プレゼントがありますよ！さらに、全部のミッションをクリアしたら、ゴリハかんバッジをプレゼントします！

番号
○ ○ ○ ○ ○

ポイント
□ + □ + □ + □ + □ = □

1つのミッションは、1回のみです。いろいろなミッションに挑戦してね！

11月28日(金)までに10ポイントためて、図書室に持ってきてね！

〈保護者の皆様へ ご協力のお願い〉

11月の読書月間の取組として、上記のとおり、「図書室ミッション」を企画しています。ミッションのなかには、ご家庭での読書習慣を付けたり、保護者様とお子様が本を通してコミュニケーションを取ってもらえたりすることを目的とした内容のものがあります。お忙しいなか恐縮ですが、読み聞かせをしてあげたり、一緒に本を読んだり、同じ本を読んで感想を話し合ったりする時間を取っていただくとありがたいです。特に、読み聞かせには、保護者様の愛情がお子様に伝わり、お子様が、自分は大切にされている、愛されていると感じることができ、自己肯定感を高める効果があります。自己肯定感が高まると、他人を思いやる言動にも繋がります。そして、保護者様からもらった愛情は、小学生の間だけではなく、生涯ずっと心の中に記憶として残り、ふとした時に思い出しながら、強く温かく生きていく心の支えとなることと思います。この機会に、本を通して、お子様と温かくゆったりとした時間を過ごされてみてはいかがでしょうか？